

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



## ライラ研修会

9月25・26日1泊2日で新発田市の敬和学園大学を研修会場として、153名（研修生82名、ロータリアン71名）が参加し開催されました。今回の研修テーマは、「世界との友絆（きずな）～地域の未来を担う若人の集い～」と題し、5ヵ国17名の留学生の参加もあり国際色豊かな研修会となりました。

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度「ガバナー月信」2010年10月1日発行

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
バストガバナーメッセージ	3
第1回米山奨学委員長セミナー	5
ライラ研修	6
1年交換帰国報告会	7
第4分区IM	8
第6分区IM	9
第7分区IM	10
糸魚川RC50周年記念	11
加茂RC50周年記念	12
ガバナー公式訪問	13
新会員の紹介	14
出席報告	15

## 2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ



ガバナー 東山昕也

事務局：〒943-0834  
新潟県上越市西城町2丁目10-25  
大島ビル203号

11  
NOV

## 財団プログラムへ理解と協力



国際ロータリー第 2560 地区  
2010-11 年度ガバナー  
東山 昕也

樹木の葉も みごとに色づく季節となりました。11 月はロータリー財団月間です。すべてのロータリアンが世界中のロータリー財団プログラムとプロジェクトを支援する機会でもあります。

ロータリー財団は 1917 年、アーチ・C・クラウン R I 会長が「全世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野でより良いことをするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1931 年に信託組織に、1983 年に非営利財団法人になりました。

ロータリー財団は構成する法人会員が国際ロータリーのみであり、正式の名称は国際ロータリーのロータリー財団と呼ばれています。

ロータリー財団プログラムには大別して「教育的プログラム」、「人道的プログラム」、「ポリオ・プラス・プログラム」があることは既にご存知のことと思いますが、教育的なプログラムの中には民間レベルで最大規模の奨学制度である国際親善奨学金があります。他国の教育機関で学ぶことによって異なる国々の人との理解と友好を深め、国際的人格を養うために寄与するものであります。この制度によって毎年 1,000 名近くのロータリー財団奨学生が受け入れ国のロータリー・クラブや地区学校や市の機関、その他フォーラムに参加し「優れた親善使節」として行動しています。人道的プログラムでは地区補助金制度が 2003 年 7 月よりスタートしており、徐々に理解され件数も増加傾向にあります。これは地区内ばかりでなく海外での人道的奉仕プログラムに使用できるものです。

私達を取り巻く社会環境の中には、ニーズの目的に適した財団プログラムを通しての機会は多々あると思われます。どうか少しでも多くの寄付をしていただき、その寄付により地区やクラブの裁量で行える奉仕によりこのプログラムがクラブの活動になることを期待しております。DDFを使ってのマッチング・グラントもありますし月額補助金が財団より出ますので2倍の奉仕活動が得られます。ロータリー財団プログラムは時代の求めに応じて広範になり、理解しにくい面もありますが、ロータリー財団月間を機会に「ロータリー財団活動に寄付」という意識から「ロータリアンのためのロータリー活動への参加」という意識に変え、ロータリー財団を大いに活用し社会改善の架け橋となっていきたいと思ひます。

「毎年あなたも100ドルを」全世界の全てのロータリアンが毎年財団に米貨100ドルの寄付を行うというシンプルな発想です。

毎年全ロータリアンが平均100ドルを寄付するという目標が達成できれば、毎年ロータリーのプロジェクトに1億2千万ドルの資金がもたらされることになるからです。

すなわち、この1億2千万ドルで、飢餓を軽減し、識字率を向上させ、ポリオをはじめ、病魔と闘うプログラムを実施することができるのです。

ロータリー財団月間によせて、私達一人ひとりがどのようにしたら意義のある貢献ができるものか、一緒に考えてみましょう。

## ロータリーの組織はクラブが主体



横山 芳郎  
(新潟 RC)

ロータリークラブ〔RC〕運営には、発会の頃から100年以上連続と続く取り決めがあり、時代や世相に合わなくなったものは、3年ごとに開かれる国際ロータリー〔RI〕主催の規定審議会があり、日本からも地区の代議員が参加して討議、決定されます。

しかしこれだけ大所帯になった RI が、意見統一をすることは次第に至難のことになってきました。日本の国政でも、地方分権が叫ばれて、その芽は確実に伸びています。RC 会員も各自の主体性に基づいて My Rotary を構築しなければならない時代が近いと私は感じています。

いろんな意見の人たちがおられるのは当然でしょう。みんな違ってみんないいというのが私の感想です。その中で次第の一つに集約してゆくのが理想でしょう。

私個人としては「RC とは政治団体や、宗教団体ではなく、政治体制、人種を問わず、世界中の人たちが生活の憂いなく、健康で平和、仲のよい生活が送れるように努力することを目標とし、さらに会員個人の主体性に基づいて職業を通じた奉仕をもって目的達成を図るという共同体です。それはあくまで会員相互の友好と理解のうえに立って、その結果として世のため人のために尽くそうというもので、単なる奉仕団体とは違います」と考えています。発会の本質は会員相互の友好、互惠であったものが、そんな個人的なものにこだわってはいはロータリーの社会的な発展、拡大はないという指摘に基づいて、ロータリーは変革が行われて今日があるのです。基本には友好、互惠、会員の人間形成〔クラブ奉仕、職業奉仕〕であったことが次第に影がうすれ、社会奉仕関連が今ではロータリーの仕事だと思っている人が多いのです。RI の幹部の人がロータリー財団をロータリーの営業部だといったのを聞いたことがあります。いままでは確かにそういわれても仕方のない状態だったかもしれません。

ロータリーのいいところは、ロータリー章典、クラブ定款、細則に従えば、専制政治のように、これでなければいかんという強制がなく、お互いの寛容と共生がいつも作用しているところです。ロータリークラブの立脚基盤がここにあることを会員はもうすこし自覚してもよいのではないのでしょうか。

8月3日、わが新潟 RC に東山ガバナーの訪問があり、講話を拝聴することができまし



た。これまでの通例として、アメリカでの国際協議会で RI による一方的な教育を受けて帰られたことで、新潟クラブでの講話もさぞかし RI の発展のために全地区あげて拡大増強、奉仕々に邁進しましょうということになると思っていました。しかし全くその方向でのお話はなく、地区の発展はクラブの自主的な内面的発展によってなされるという趣旨のご発言で、私としては全く同感で、感激、感動いたしました。

ロータリーの運営にはクラブが基本であるという考えは以前からありましたが、そういうことが表面に出てきた初めは 2002~03 年の RI 会長ビチャイ・ラクタル氏の頃からで、04~05 年の RI 会長のグレン・エステス氏は、RC で一番偉いのはクラブ会長だと明言しました。Club Leadership Plan という考えが次第に浸透してきました。昔は RI→地区→クラブが会社の本社→支店→出張所のように縦割りにみられていましたが、フランチャイズ制度のように横並びのランクで契約料を払って経営のノウハウを指導してもらおうというようにしたらどうでしょう。クラブは RI や地区に分担金を払っているのですから、運営や便宜の相談にのってもらうことを主眼にするということです。リーダーシップはあくまでクラブにあるということです。

## 文 庫 通 信 (278号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 職業奉仕について

- ◎ 「ロータリーの本質は職業奉仕の実践にあり」 上野 操 2010 1p (D.2580月信)
- ◎ 「職業奉仕のいろは」 深川純一 2010 16p (職業奉仕のすすめ)
- ◎ 「東洋の実業倫理とロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2010 21p (職業奉仕のすすめ)
- ◎ 「近江商人について」 塚崎 純 他 2010 3p (職業奉仕のすすめ)
- ◎ 「石門心学とロータリー」 石田二郎 他 2010 6p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎ 「回首原点-ロータリーで元気になろう」 佐古亮尊 2010 10p (D.2500地区大会報告書)
- ◎ 「今・改めてロータリーを見直す」 森田 均 2010 10p
- ◎ 「[決議23-34] はロータリアンの『金科玉条』なり」 古川隆三 2010 1p (D.2650月信)
- ◎ 「ロータリー簡単図解その 8 〈解り易い職業奉仕〉」 鈴木章夫 2010 1p (D.2520月信)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/ PDF) ]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前 10 時 ~ 午後 5 時 休館 = 土・日・祝祭日

# 第1回 米山奨学委員長セミナーの報告

米山記念奨学委員長  
新保清久（新潟万代RC）

第1回米山奨学委員長セミナーを平成22年10月2日（土）12:30から上越市の やすね において開催しました。出席されたクラブ委員長は35名でした。

石本ガバナーエレクトの米山奨学事業に全面的に協力するというご挨拶に続きまして寄付増進委員会の橋本委員長からDVDを使って米山奨学事業について説明がありました。2009-2010年度の2560地区の1人当たりの寄付額は18,300円で34地区中8位であったことや次年度（石本年度）の奨学生受け入れ人数は24名に決定したこと。さらに奨学生とカウンセラー参加の親睦交流会や柏崎を巡る日本文化体験ツアーなどの様子が写真も使って報告されました。



続きまして6グループに分かれてグループディスカッションを行いました。テーマは「寄付金の集め方や米山奨学委員長としてご苦労されていること」について、各委員長から発表していただきました。寄付金の多いクラブでは、「会費に財団と米山の寄付分を上乗せしているので集金の苦労はほとんどない」、「奨学委員長が率先して毎回千円、二千元という寄付金を募っているので協力者も多くなり結果として寄付金が増えた」との発表があり、



逆に少ないクラブからは、「米山奨学制度の理解が進まなければ寄付金が集まらないので、今後米山奨学制度の理解に努力する」という発表がありました。

最後に東山年度の寄付金の目標額は1人当たり18,000円であること。奨学生、学友の卓話の実施や奨学事業を紹介するDVD等を利用して啓発に努めていただきたいというお願いをして閉会となりました。

## RYLA 研修を終えて

ライラ委員長

若桑 茂（新発田 R C）

国際ロータリー2560 地区第 10 回 RYLA 研修会が 9 月 25 日（土）・26 日（日）一泊二日で新潟県新発田市の敬和学園大学を研修会場として開催されました。研修生 82 名、ロータリアン 71 名の合計 153 名が参加しました。

今回の研修テーマは、「世界との友絆(きずな)～地域の未来を担う若人の集い～」と題し、中国・ロシア・インドネシア・フィリピン・マレーシアの 5 カ国、17 名の留学生の参加もあり国際色豊かな研修会となりました。



一日目は、ロータリアンでもある敬和学園大学の鈴木学長の基調講演ではじまりました。



知らない者同士がグループ編成され緊張感漂うオリエンテーション、笑顔が見え始めてきた午後の研修 Small Group Activities。そして研修会場から宿まで 12km のウォーク研修においては、出発時は明るく日差しがあったものの、宿に着く頃には辺りは真っ暗で肌寒くなってしまいましたが、全員で完走することができました。夕食会では今朝会った者

同士とは思えないほど打ち溶け合い懇親を深めていました。

二日目は 6 時起床。ラジオ体操で始まり、朝食後研修会場へバスで移動。午前中は Small Group Discussion、午後は Consensus 研修を行い、全ての研修が終了する頃には別れが近づくにつれ名残惜しさも感じられてきました。

研修中には、留学生と言葉の壁にぶつかり意思の疎通ができなかったり、文化の違いによる意見の対立等、様々な問題にはぶつかりましたが、この二日間で図りきれない絆が生れたことと思います。この研修で学んだことを、研修生各自が学校・会社・地域へ戻り、何かに活かしてもらえれば幸いです。





# 1年交換帰国報告会・受入学生オリエンテーション

青少年交換委員長  
加藤祐介(新潟南RC)

9月4日に2009-2010年度1年交換学生帰国報告会と2010-2011年度1年交換受入学生オリエンテーションを新潟市ANAクラウンホテルにて合同でおこなった。東山ガバナー、丸山地区副幹事もご多忙のところ駆けつけていただいた。

帰国学生は塚田治幸君(敬和学園高、新潟RC、ブラジル)木下博登君(東京学館高、新潟北RC、アメリカ)



櫻井志保さん(敬和学園高、新潟東RC、アメリカ)の3名が1年間の留学を無事終え、元気に帰国報告をしてくれた。1年前は不安そうに旅立った彼らだが、見違えるほどたくましく、自信に満ちた顔つきとなっていた。それぞれに3ヶ月ほどは試練にさらされたようだが、言葉が通じるようになってからは、楽しく有意義に親善大使の役目を果たしてくれたようである。受入学生の英語、ポルトガル語の同時通訳もこなしてくれて頼もしい限りである。

第2部は受入学生のオリエン、自己紹介をおこなった。2010-2011年度は4名の学生が日本を学びに来てくれた。アンジェロ君(ブラジル、新発田RC、敬和学園高)、フィリップ君(アメリカ、新潟東RC、敬和学園高)、ポーンさん(タイ、頸北RC、上越高)、レイチェルさん(アメリカ、頸北RC、上越高)である。4人ともかなり日本語の勉強を積んでおり、すでにそここの会話は成り立つのには驚いた。パソコンを使い、上手に日本語で自己紹介をこなしてくれた。4名とも気さくで素直そうな子たちである。我々委員もひと安心である。第3部はROTEX(留学経験者のOB会)を交えて懇親パーティーを行い親交を深めた。これから1年間異国で過ごす16~17才である。親代わりとなり、この留学が一生の良き思い出となるよう委員会としても応援していきたいと思う。





## 第4分区 I M 開催報告

第4分区アシスタントガバナー  
葦澤喜一郎（三条南RC）

R I テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」

きずな  
地区テーマ「友絆」－地域とともに

テーマ「熱き心で我がロータリークラブを語る」



第4分区内11クラブから200余名のご参加をいただき盛大に今年度のIMを開催することができました。区内各クラブのご協力に熱く御礼申し上げます。

「熱き心で我がロータリークラブを語る」のテーマのもと、各クラブ会長がクラブへの想いを熱く語られ、最後に馬場パストガバナーよりそれぞれのクラブについての講評をいただきました。他クラブの活動を知り、理解を深めることによって刺激を得られ、自己研鑽や親睦の機会が得られたことと思います。

なお、当日配布させていただきました「ROTARY mini DIGEST」は時や場所を選ばずご活用いただけるものです。ロータリー活動の一助となれば幸いです。

次年度ホストクラブはご挨拶をいただきましたように見附ロータリークラブになります。ロータリーの、地区の、第4分区の発展のためご尽力いただきますようお願い申し上げます。

ご参加、ご協力いただきました全ロータリアンに心より感謝を申し上げます。そして、ホストクラブの皆様ご苦勞様でした。

ありがとうございました。

開催日 2010年9月4日（土） 会場 燕三条ワシントンホテル

## 第6分区IM 開催報告

アシスタントガバナー  
今井芳夫(小千谷RC)



9月26日(日)グリーンパークにて87名の登録で「第6分区IM」が開催されました。本年度東山ガバナーのテーマ「友絆」地域とともにという中で、まずは「ロータリーを楽しむ」ことから始めようと述べております。そこで、今年のIMのテーマを「ロータリーの楽しさを語ろう」と決めました。例年やっておりますパネルディスカッション形式を少し変え、皆が意見を述べ合うグループ談義といたしました。

セッション形式を少し変え、皆が意見を述べ合うグループ談義といたしました。

**第1部**として、「ロータリーの友」編集長、二神典子氏より「ロータリーを楽しむ」と題し講演をお願いいたしました。海外にもよく行かれ、豊富な取材活動の中から楽しい話を聞かせていただきました。特にお話の中で、ロータリーの会合以外でもロータリーバッヂを付けて出かけましょうといわれましたが、ロータリアンの皆さんに実行して欲しいと思いました。

**第2部**では、グループ談義ということで3グループに分かれました。第①グループでは、オリエンテーションを行い、講師に植木康之パストガバナーにお願いしました。ロータリアンとして、自分自身を素直に受け入れ人間として当たり前な事を積み重ね、多くの行事に参加し、人と交わりながら楽しみを見つける事がロータリーライフであると、結んでおります。第②グループでは、「楽しんでますか？ロータリー」社会奉仕編として、「地域に対する活動」にテーマを絞り、各クラブより自慢の活動を発表していただきました。第③グループでは、同じくクラブ奉仕編とし、例会における卓話のやり方、夜例会の様子、例会の開始時間の問題、また会員増強、退会防止についても話し合われました。

どちらのグループも活発な意見が多く出て、時間が足りなく残念に思いました。

**第3部** 親睦交流会では、オープニングに小千谷RCの混成合唱クラブのコーラスから始まり、それぞれ一年ぶりの交流会を楽しんでいただき、なかなか雰囲気うちに終了いたしました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



## 第17回第7分区I.M.ご参加に感謝して



第7分区A.G.  
西条聖八  
(新潟RC)

去る10月2日、当高田東ロータリークラブで開催されました、第2560地区第7分区、I.M.（インターシテイミーティング）は211名の数多くの方々に御登録頂き、盛会裏に開催出来ました事に大変深く感謝し、御礼申し上げます。

さる、2010年度の国際協議会の本会議の席上において、レイ・クリンギンスミス ロータリー会長が本年度テーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」としたことを発表いたしました。

そしてこのテーマと意思を受け継いで我が国際ロータリー第2560地区東山ガバナーは地区テーマを

「友絆・・・地域とともに」と定め、ロータリアンの熱き心の絆を大切に、友情を深め、地域社会とともにロータリー活動の喜びと魅力を広めようと言う内容で活発に社会に訴えております。

I.M.は各クラブの意見交換、討議そして親睦の<sup>じつ</sup>実を挙げるのが趣旨であると知らされております。I.M.は一般的討論の場であり、決議はない事になっております。いわば楽しさがある程度上回ってもよいかもしれません。ロータリーが楽しさを重要な要素としながらも、それだけではなくその上に、高い理想を明確に掲げつつ、奉仕という<sup>じつ</sup>実のある実態を実践してきたところにあり、ここが大きな違いであり、また同様に誇りとするところでもあります。現在の社会・経済情勢の停滞は誠に憂慮すべき状態であり、我々が期待するような方向には必ずしも動いてはくれません。この時こそ叡智を出し合い、討議しようではありませんか。それには、7分区、9クラブの皆様と

お互いの地域的、歴史的背景を踏まえて、メイクアップを多用しながら相互理解をするのが一番早道であります。

最後になりますが、この度のI.M.開催にあたり、尽力されました実行委員会並びに関係各位の皆様にご心から厚く御礼申し上げます。





## 糸魚川 R C 50 周年 報告

藤森 仁行（糸魚川 R C）

糸魚川ロータリークラブは創立 50 周年を迎え、2010 年 9 月 25 日〔土〕第 2560 地区東山昕也ガバナー、大島精次パストガバナー、植木康之直前ガバナーを始めとする多数のロータリアンの皆様、また、米田徹糸魚川市長、高瀬衛糸魚川商工会議所会頭を始めとする地域の方々など二百有余名の出席を得て糸魚川市民会館に於いて盛大に記念式典を開催した。

私達糸魚川ロータリークラブは 50 年前、直江津ロータリークラブをスポンサークラブとして、1960 年 10 月 12 日に国際ロータリーより加盟承認を受け、故田辺清氏を会長に 23 名のメンバーで発足した。50 周年記念式典は第 50 代岩崎和夫会長の点鐘にて始まった。

記念事業として糸魚川市へジオパーク支援金を贈呈した。クラブ内功労者として第 10 代会長木島登、第 25 代会長永野敏郎、第 38 代会長中村庸一の三氏を表彰した。記念演奏として糸魚川吹奏楽団による『見上げてごらん夜の星を』などポップスの演奏は拍手がなりやまぬくらい好評だった。

記念講演はフォッサマグナミュージアムの館長補佐宮島宏氏による『世界ジオパークによるひとまちづくり』であった。私達糸魚川ロータリークラブは「世界ジオパーク糸魚川」をこれからも全面的に支援していく所存である。

祝賀会はホテル糸魚川に場所を移動して行った。ホテル玄関ではヒスイ太鼓による歓迎を受けた。祝賀会に先立ち春日部南ロータリークラブとの友好クラブ締結式を行った。その後植木康之直前ガバナーによる乾杯の発声で祝宴が始まった。



## 盛大に加茂R C 五十周年

実行委員長

桑原寛治（加茂R C）

去る10月2日（土）第4分区の加茂R C 五十周年記念がすばらしい秋晴れのもと、午後より加茂市産業センターで、ご来賓、特に東山ガバナーは令夫人とご一緒に出席されクラブ全員を含め約250名の参加のもとで、創立五十周年式典が行われた。

「結束と前進」を合言葉に“飛躍”を「テーマに掲げ、37名のメンバーがそれぞれ動いた。また、プロセスを楽しもうということで、家族を含めて3回の成功祈願ウォーキングを、また、加茂R Cの旗を掲げて“しまなみ街道徒歩横断一人旅”をするメンバーもあり、更に台湾まで6人で祈願詣でをやったりで、約1年半の準備期間を楽しみながらやった。

記念事業は「物より心に」ということで、隣の文化会館で「ハートフルコンサート～感謝の気持ちを歌に込めて～」を開演。加茂市出身でR C財団奨学生としてローマに学び、いまや藤原歌劇団で活躍の三浦克次氏と大貫裕子さんのオペラと130名の市民合唱団の迫力あふれる歌声を堪能。最後に焼く千余名による「この街で」の大合唱を会場いっぱいに響かせた。

懇親パーティは、式典会場と同じ産業センターで快心ジャズを聴きながら、料亭会員の手作りの料理を楽しみ、最後に加茂市並びに第2560地区や当クラブとロシアの友好を祝い、全員が特製の帽子にヒゲをつけ「カチューシャ」を大合唱し、続いて「手に手つないで」で大いに盛り上がり終了した。



## ガバナー公式訪問 報告

各クラブから寄せられた公式訪問報告書から一部をご紹介します、  
その他のクラブにつきましては訪問日を記すこととさせていただきます。

### 【燕ロータリークラブ】 会長 小田島 藤吉

10月4日、ガバナー東山昶也様、第四分区AG蕪澤喜一郎様、地区副幹事北島喜司男様より燕の地にお越し頂きガバナー公式訪問を賜りました。

例会に先立ちましての懇談会では、地区の方針、ガバナーのお考えを伺い、当クラブの現状を踏まえ今後の活動について具体的なご指導を頂きました。

例会では、当クラブ最年長者85歳の石井会員がSAAを務め、「綱領宣言」「握手タイム」「バナー交換」と厳粛に進行を行い、委員会報告では親睦委員長より10月の誕生祝を発表する中で、ガバナーのお誕生日が10月14日ということで、サプライズでお祝いできましたことを大変嬉しく思っております。

その後、ガバナーより記念講話を頂きました。国際協議会のお話の中では「入りて学ぶ、出でて奉公せよ」について、またRIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」について、また会員減少問題についてはビチャイラタクル元RI会長の講演内容をご紹介頂きました。クラブ協議会では各委員会の発表を4つに区切り夫々の委員会に対して的確なアドバイスを頂きました。中でも職業奉仕、社会奉仕の違いについて今迄分かっていたようで曖昧であったことが、ガバナーのお言葉ですと納得が行き、一つのドアが開いたような思いが致しました。

東山ガバナーの熱心なるご指導を賜りながら、充実した和やかな公式訪問の場でありましたことをご報告申し上げます。



### 【訪問クラブ】(9月21日～10月20日締めで掲載)

新発田中央RC (9月21日)	三条RC (9月22日)	吉田RC (9月24日)
新潟中央RC (9月28日)	巻RC (9月29日)	新発田城南RC (9月30日)
新津中央RC (10月5日)	長岡東RC (10月6日)	柏崎中央RC (10月12日)
村上岩船RC (10月18日)	佐渡南RC (10月19日)	佐渡RC (10月20日)



## 新入会員紹介 (敬称略)



藤枝 恵  
新潟南RC  
9月8日入会  
(株)FITフードシステムズ



松村 恵介  
長岡東RC  
10月27日入会  
大和証券(株)長岡支店



秋山 澄雄  
糸魚川RC  
9月1日入会  
秋山税理士事務所

## 11月 地区の予定

日	曜日	行事	会場
13	土	第24回ガバナー連絡会	長養館(高田)
20	土	R I 第2560地区東山年度R I 会長代理歓迎晩餐会	デュオ・セレッソ
21	日	R I 第2560地区地区大会	リージョンプラザ上越
24	水	ロータリー財団地域セミナー	大阪国際会議場・ リーガロイヤルホテル
25	木	R I 会長歓迎晩餐会、第2回ガバナー会議、他	大阪国際会議場・ リーガロイヤルホテル
26-27	金 土	ロータリー研究会	大阪国際会議場・ リーガロイヤルホテル

国際ロータリー第2560地区 東山ガバナー事務所  
〒943-0834 新潟県上越市西城町2丁目10-25 大島ビル203  
TEL 025-527-3110 FAX 025-527-3118  
E-mail higashiyama@rid2560niigata.jp

## 第2560地区 2010-11年度 9月末時点出席報告

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	9月末日現在	女性	増減
第1分区(9クラブ)		3	87.45	327	336	27	9
1	新発田	3	96.94	76	78	0	2
2	村上	4	86.81	36	36	6	0
3	水原	4	87.75	23	23	1	0
4	中条	4	90.79	36	37	2	1
5	新発田城南	4	95.03	45	45	6	0
6	豊栄	3	81.80	21	22	3	1
7	新発田中央	4	87.43	43	46	3	3
8	中条胎内	4	83.04	28	28	3	0
9	村上岩船	3	77.42	19	21	3	2
第2分区(9クラブ)		4	87.35	380	401	21	21
10	新潟	4	81.04	80	84	0	4
11	新潟東	4	100.00	51	55	2	4
12	新潟南	5	87.10	65	71	0	6
13	佐渡	4	83.00	14	15	0	1
14	新潟西	4	89.17	29	30	0	1
15	佐渡南	4	92.12	43	46	6	3
16	新潟北	3	84.76	35	35	0	0
17	新潟中央	4	86.46	24	24	3	0
18	新潟万代	3	82.50	39	41	10	2
第3分区(6クラブ)		4	77.47	153	155	9	2
19	新津	4	71.24	25	26	1	1
20	村松	4	96.43	7	7	0	0
21	五泉	4	80.00	25	25	3	0
22	白根	4	88.59	51	52	2	1
23	新津中央	4	78.58	35	35	2	0
24	阿賀野川ライン	4	50.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)		4	82.09	393	397	23	4
25	三条	4	83.84	53	54	0	1
26	燕	4	80.55	28	30	0	2
27	加茂	4	97.29	37	37	5	0
28	三条南	3	92.06	51	51	0	0
29	分水	4	88.24	33	34	2	1
30	見附	4	78.00	17	17	0	0
31	吉田	4	84.90	40	40	5	0
32	三条北	4	73.61	70	70	4	0
33	巻	5	78.00	15	15	0	0
34	田上あじさい	4	62.50	8	8	2	0
35	三条東	4	83.98	41	41	5	0

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	9月末日現在	女性	増減
第5分区(7クラブ)		4	90.83	307	310	26	3
36	長岡	4	91.38	42	42	2	0
37	柏崎	4	89.45	44	45	0	1
38	長岡東	5	90.72	68	69	6	1
39	柏崎東	3	93.33	45	45	2	0
40	栃尾	4	92.86	20	21	0	1
41	長岡西	4	86.19	42	42	4	0
42	柏崎中央	4	91.85	46	46	12	0
第6分区(6クラブ)		4	83.69	148	150	9	2
43	十日町	4	90.32	30	31	0	1
44	小千谷	3	83.68	34	36	4	2
45	雪国魚沼	5	74.50	23	23	2	0
46	十日町北	5	91.30	23	23	1	0
47	津南	3	89.33	24	24	2	0
48	越後魚沼	4	73.00	14	13	0	-1
第7分区(9クラブ)		4	84.70	328	333	19	5
49	高田	4	98.97	74	77	1	3
50	直江津	4	87.36	43	44	2	1
51	新井	5	74.85	34	35	2	1
52	糸魚川	4	82.71	35	36	0	1
53	妙高高原	2	75.00	8	8	0	0
54	高田東	3	80.56	36	36	2	0
55	糸魚川中央	4	79.41	38	38	0	0
56	頸北	4	94.10	17	17	1	0
57	越後春日山	4	89.37	43	42	11	-1

クラブ数	57
7月1日現在会員数	2,036
9月末日 現在会員数	2,082
女性会員数	134
純増減会員数	46
当月平均出席率	84.93